

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み
田淵行男記念館 Tel.72-9964	栗田貞多男写真展 森を舞う蝶	期6月30日(火)~9月27日(日) 場階企画展示室	費要入館料
	栗田貞多男スライドショートーク	日7月26日(日)14:00~15:00 場1階企画展示室	費要入館料 定30人(先着順) 申7月1日(水)から電話で
貞享義民記念館 Tel.77-7550	楡フォトクラブ写真展	期7月14日(火)~20日(月・祝) 場1階企画展示室	費無料
安曇野高橋節郎記念 美術館 Tel.81-3030	工芸ワークショップ 七宝アクセサリーづくり 講向山伊保江さん(日展作家)	日7月20日(月・祝)13:00~16:30 場本館メディアフォーラム	費2,500円 定8人(先着順) 持軍手、(お持ちの人は)金槌、金切鉋 申6月23日(火)から電話で
	工芸ワークショップ 金工体験 シルバーリングづくり 講松木光治さん(日展作家)	日8月11日(火・祝)10:30~16:30 場本館メディアフォーラム	費5,000円 定15人(先着順) 持昼食(外出可)、タオル、軍手 申6月23日(火)から電話で

■休館日、開館時間などは各施設へお問合せください。

貞享義民記念館

デザインプロジェクト 人権ポスター展



県と長野美術専門学校が連携して制作した人権をテーマにしたポスター10点を展示します。

期6月27日(土)~7月5日(日)9:00~17:00

場企画展示室

費無料

問貞享義民記念館 Tel.77-7550

豊科郷土博物館

さよなら常設展ギャラリートーク



リニューアルのため7月17日(金)で終了する常設展を監修した倉石あつ子さんのギャラリートークです。

日7月11日(土)10:30~11:30

場1階常設展示室

講倉石あつ子さん(元跡見学園女子大学教授)

費要入館料 申不要 問豊科郷土博物館 Tel.72-5672

冬は、市内の多くの河川でみられるカジカです。川底の石の隙間に隠れ、水生昆虫などを食べています。石の色彩にあわせた体色で外敵から身を守っています。カジカは漢字では「鰈」と書き、冬の産卵期に向けて秋ごろからお



石の色や模様とそっくりなカジカ

安曇野市には梓川と奈良井川が合流した犀川、北アルプスの槍ヶ岳周辺を源とする高瀬川、燕岳を源とする穂高川など多数の河川が流れています。周辺の山々に降った雪や雨は、川としてだけでなく、長い年月をかけて地中を通り湧水としても安曇野を潤しています。このような水環境は、魚の養殖やワサビの栽培など人の営みの中でも活用されてきました。また、低水温できれいな水が流れる河川や湧水には、ウグイやヤマメ、イワナ、カジカ、シマドジョウなどの魚や、多くの種類の水生昆虫が暮らしています。

写真は、市内の多くの河川で見られるカジカです。川底の石の隙間に隠れ、水生昆虫などを食べています。石の色彩にあわせた体色で外敵から身を守っています。カジカは漢字では「鰈」と書き、冬の産卵期に向けて秋ごろからお

市誌編さん専門調査会 自然部会 専門調査員 美馬純一

豊かな水環境と水辺の生き物たち

第44回 コラム 市誌編さんだより



望月桂《反逆性》1920年

安曇野市美術館 Azumino Art Museum

期間 7月4日(土)▶8月30日(日)  
費用 一般520円  
大学高校生310円  
中学生以下・70歳以上の市内在住者無料  
問い合わせ 市美術館 Tel.73-5638

関連イベント

■シンポジウム 帰ってきた望月桂

日7月11日(土) 13:00~16:00

第1部 足立元さん(二松学舎大学)、植草学さん(信濃毎日新聞社)、大島浩さん(長野県旧山辺学校校舎)、岡村幸宣さん(原爆の図丸木美術館)、金井直さん(信州大学)、武井敏さん(碌山美術館)、塩原理絵子(市職員)

第2部 鼎談:いづれもアーティストの卯城竜太さん、風間サチコさん、松田修さん ほか

費要入館料 定100人(当日先着順) 申不要

■トークイベント 岐路に立つアナキスト・モダニズム

日8月1日(土)14:00~15:30

講アラン・アントリフさん(カナダ・ビクトリア大学、美術批評家)

費要入館料 定100人(当日先着順) 申不要 他逐次通訳あり

■スライドショー 『漫文漫画』で知る近代史

日8月22日(土)14:00~ 講清澤栄三さん(美術館長)

費要入館料 定50人(先着順) 申6月23日(火)から電話で

■ギャラリートーク

日8月8日(土) 14:00~ 講塩原理絵子

8月29日(土) 14:00~ 講足立元さん

費要入館料 申不要

■連携企画展示

望月桂 自由を扶くひと

- 犀川凡太郎の人生漫歩 -

場市文書館

期5月10日(日)~8月30日(日)

荻原守衛と望月桂

場碌山美術館

期7月4日(土)~8月30日(日)

白井吉見文学館 第20回れんげ忌講演会  
小説『安曇野』に描かれた木下尚江



白井吉見は小説『安曇野』の中で、主要登場人物の木下尚江をどのように描いているのか。長年、研究に携わってきた中島国彦さんが、研究内容を披露します。

日7月12日(日)14:00~15:30(開場13:30)

場堀金公民館講堂

講中島国彦さん(全国文学館協議会長)

費無料

定100人(先着順)

申6月23日(火)から電話、ファクス、電子メールのいずれかで

問文書館 Tel.71-5123 Fax.71-5127

✉bunshokan@city.azumino.nagano.jp

市誌講座

ここまでわかった!安曇野の原始・古代



市誌編さん専門調査会考古部会の専門調査員の皆さんが、最新の調査研究の成果を語ります。

日①7月28日(火)②29日(水)③30日(木)

13:30~15:30(開場13:00)

場豊科公民館大会議室

第①縄文・弥生時代の安曇野②古墳と明科廃寺の時代

③古代の安曇野

講①百瀬新治、島田哲男、土屋和章

②大澤慶哲、白居直之、山下泰永

③寺島俊郎、原明芳、山田真一 (敬称略)

費無料 定70人(当日先着順) 申不要

問文書館 Tel.71-5123